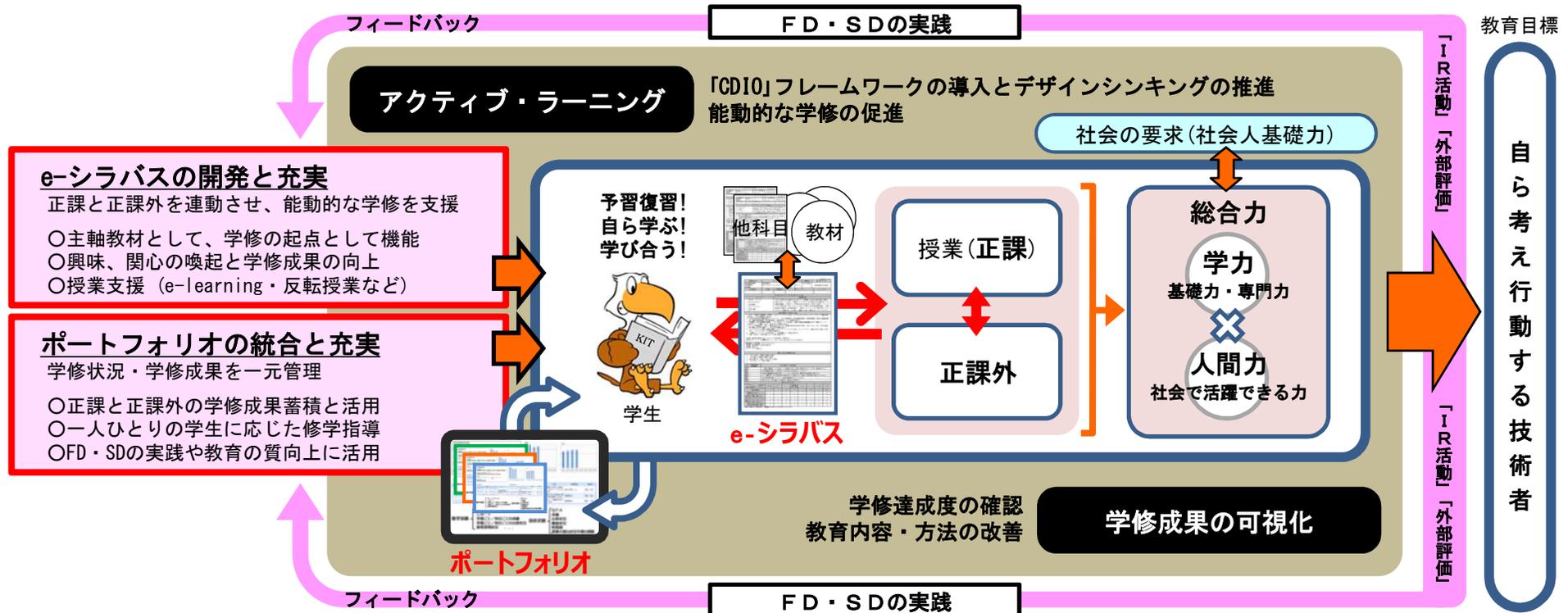


大学等名：金沢工業大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）とテーマⅡ（学修成果の可視化）複合型

更なる学生の能動的な学修の促進と学修意欲向上を目指すために、正課と正課外の学修を密接に連動させ、「チームで取り組む問題発見・問題解決型教育」を基盤とした全学的なアクティブ・ラーニングを展開し、正課と正課外の活動を可視化しながら、学生の能動的な学びの場としてのアクティブでオープンなキャンパスを形成します。



指標	26年度	28年度 (目標値)	30年度 (目標値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	100%	100%	100% 学修の質の向上
学生の授業外学修時間 (1週間当たり)	10時間未満	15時間	18時間 学修時間の向上
正課外教育 (プロジェクト・教育支援プログラム等) への参加率	44%	50%	70% 学修意欲の向上

加速

今までの改革を統合し、正課と正課外教育が相互に連動したトータルで学ぶ金沢工業大学でのアクティブな学修とその成果を可視化

全学的な影響

教育（能動的な学修）と教学マネジメントの質が向上

- ① 能動的な学修（達成度、満足度、課外活動への参加）
- ② 教職員力（FD・SD活動の促進、全学的なアクティブ・ラーニングの推進）
- ③ 教学マネジメント力（自己点検・評価・改善、外部評価）